

## 4 各推進主体の役割

### ～家庭（市民）の役割～

- 家庭生活における省エネを進める
- 住宅における省エネルギー性能の向上を図る
- 省エネ家電を導入する
- 太陽光などの再生可能エネルギーの活用を図る



### ～事業所（事業者）の役割～

- 事業活動における省エネを進める
- 施設や設備・機器の省エネ化を図る
- 太陽光などの再生可能エネルギーの活用を図る



### ～市の役割～

- 公共施設などからの温室効果ガス排出量を削減する
- 家庭や事業所における地球温暖化対策の推進に向け、支援や誘導に通じる取組を実施する
- 地球温暖化対策に通じる情報収集や情報提供などを行う

## 5 取り組むうえでの配慮事項

### ①無理せず継続的な取組の工夫

地球温暖化対策は、継続的な取組により大きな効果を発揮します。そのため、日常生活や事業活動の快適性を大きく損なうなど、負担が大きい取組は、原則として行う必要はありません。一方、光熱水費の節約により生まれる「潤い」は、家庭や事業所に多少なりとも「楽しみ」をもたらすものとなります。エネルギー使用量や光熱水費の削減などを目に見える形で成果を把握すれば、地球温暖化対策への意欲の保持につながります。

### ②熱中症の対策

熱中症は、高温・多湿の環境のなかで、水分補給を行わず、長時間活動を続けることにより、立ちくらみやめまい、頭痛、嘔吐などの症状が出るものです。エアコンの使用を控えることは、地球温暖化対策の有効な取組の一つですが、適切な体調管理に必要な室内環境を維持し、こまめな水分補給などで、健康な生活を送ることもとても大切です。

<p>「森っこサンちゃん」は、トウキョウサンショウウオをモチーフにした、あきる野市のイメージキャラクターです。</p>	<p>本計画は、あきる野市図書館やあきる野市ウェブサイトなどでご覧いただけます。 URL: <a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/</a></p>
<p>発行：あきる野市 〒197-0814 東京都あきる野市二宮 350 番地 電話 042-558-1111（代表） 編集：あきる野市 環境経済部 環境政策課 環境政策係</p>	

# あきる野市 地球温暖化対策地域推進計画

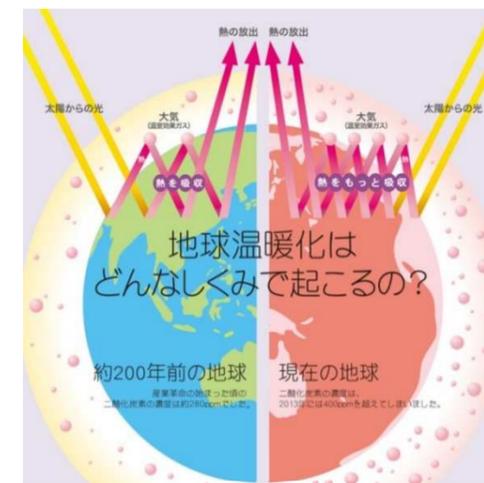
## ～みんなで進める地球温暖化対策～ - 概要版 -

本計画は、あきる野市から排出される温室効果ガスの削減に向け、家庭（市民）・事業所（事業者）・市が一体となって地球温暖化対策に取り組むために策定しました。また、この概要版では、計画全体の要点や重点的に実施していく取組を解説しています。各家庭や事業所で、できることからはじめてみませんか。

## 1 地球温暖化の仕組み

地球を包んでいる大気には、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をはじめとする「温室効果ガス」が含まれており、地表から放出される熱の一部を吸収し、吸収した熱を再び地表へと放射しています。この作用により、地球全体の平均気温は生物の生息・生育にとって適度な温度に保つことができますが、温室効果ガスが増えていくと、地表から放出される熱の吸収量が増加し、地球全体の平均気温が上昇していきます。

これが「地球温暖化」の仕組みであり、地球温暖化の進行は現在も続いています。



（出所：全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト）

### 【地球温暖化の影響】

- 気温の上昇に伴い世界各国の穀倉地帯で穀物の生産性が低下することにより、小麦などを輸入に頼っているわが国では、食糧不足に陥る恐れがあります。
- 近年、かつて経験をしたことがない高温や豪雨などの異常気象が頻繁に発生しています。また、海面水温の上昇は、台風の強度を増加させるとともに、発達した積乱雲による集中豪雨を誘発します。
- 気温の上昇により、熱中症などの健康被害のリスクが増大します。近年は、最高気温が 35℃を超える日があり、熱中症患者数が非常に多くなっています。



**温室効果ガスの排出者全員が対策を進めることが必要です**

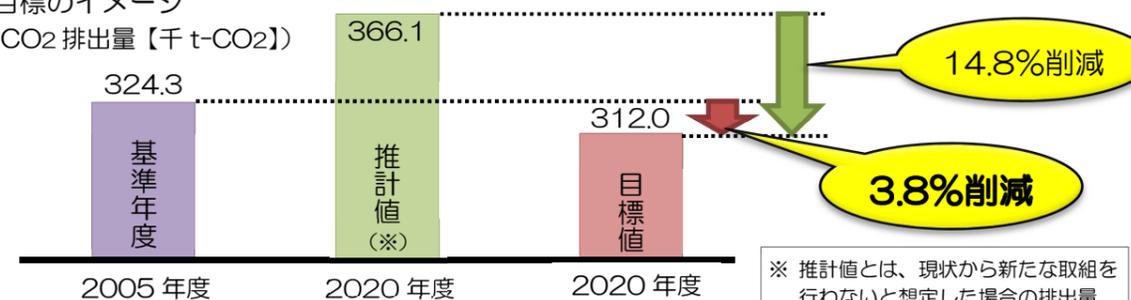
## 2 計画の目標

温室効果ガスには、二酸化炭素のほかにメタンなどがありますが、温室効果ガス排出量の構成比の多くを二酸化炭素が占めているため、本計画では削減の取組を進めていく対象を二酸化炭素とします。また、削減目標は、国の中期の削減目標に準じて次のように定めます。

**2020 年度までに 2005 年度比で 3.8%以上削減する**

### ▼削減目標のイメージ

（数値は CO<sub>2</sub> 排出量【千 t-CO<sub>2</sub>】）



※ 推計値とは、現状から新たな取組を行わないと想定した場合の排出量

# 3 地球温暖化対策の主な取組



本市の特性として緑が多いことや一戸建住宅の割合が多いことなどを考慮し、特に積極的に取組を進めていくことで、大きな効果が得られるものを「重点プログラム」として位置づけました。すぐに行動できるものだけでなく時間のかかるものもありますが、はじめられることから取り組んでみましょう。

## 重点プログラム1 緑を増やして二酸化炭素を吸収・固定しましょう

### ①森林の保全や適正管理、森林整備を進めましょう



森林の適正管理や整備の推進は、二酸化炭素の吸収機能・固定機能の向上につながります。地域での景観整備や道づくりなどの活動や「森林サポートレンジャーあきる野」への参加などにより森づくりを進め、森林の二酸化炭素の吸収量・固定量を増やしましょう。

### ②グリーンカーテンに取り組めましょう

グリーンカーテンとは、ゴーヤなどのつる性の植物を利用した「緑のカーテン」のことです。光合成による二酸化炭素の吸収だけでなく、夏の日差しを遮り、室内の温度上昇を防ぐことで、冷房の使用時間を減らすことや設定温度を上げることができ、より一層の節電や省エネルギーの推進を図ることができます。

### ③庭に樹木をもう1本植えてみましょう

樹木はたとえ1本であっても、二酸化炭素を吸収・固定する機能があります。特に比較的若い樹木は、成長段階にあることから、二酸化炭素の吸収量・固定量も多くなっています。



## 重点プログラム2 再生可能エネルギーによる地球温暖化対策を進めましょう

### ①太陽光で電気をつくりましょう



住宅などにおける太陽光発電を進め、家庭や事業所におけるエネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減を図りましょう。市では、家庭や事業所における太陽光発電システムの設置を促進するため、国や都の支援制度等について広く情報発信するなどの支援を行っています。

### ②「屋根貸し制度」で太陽光発電を増やしましょう

「屋根貸し制度」とは、発電事業者が建物の屋根を借り、太陽光発電システムを設置して、発電を行うことです。2012年から再生可能エネルギーの固定価格買取制度が開始されたことに伴い注目が高くなってきており、太陽光発電の普及拡大につながることを期待されています。

#### 【再生可能エネルギーの固定価格買取制度】

再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）を用いて発電された電気を電力会社が一定価格で買い取ることを国が約束する制度です。この制度により、発電設備を設置した際のコスト回収の見通しが立ちやすくなっています。

## 重点プログラム3 エコドライブで燃料使用量を減らしましょう

### ①エコドライブ技術を身につけましょう

エコドライブは、燃料使用量や二酸化炭素排出量を減らす“運転技術”や“心がけ”のことです。また、エコドライブは、交通事故の防止にもつながり、家計に優しいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。講習会などに参加し、エコドライブ技術を身につけましょう。

### ②エコドライバーになりましょう

講習会などで身につけたエコドライブ技術を活かし、エコドライブに取り組めましょう。また、エコドライブの継続には燃費の記録なども効果があるとされています。日々の燃費の把握を習慣付けましょう。

#### 【エコドライブの例】

エコドライブは誰にでも今すぐに取り組むことができます。次の例を参考に、あなたもはじめてみませんか。

ふんわりアクセル 発進するときは、 穏やかにアクセル を踏みましょう。	アイドリング ストップ 駐車の際のムダ なアイドリングを やめましょう。
荷物をおろす 必要のない荷物は 車からおろしまし ょう。燃費は荷物 の重さに大きく影 響されます。	迷惑駐車をやめる 交通の妨げとなる 駐車は、渋滞を引 き起こし、事故の 原因にもなるの で、やめましょう。

## 重点プログラム4 楽しく省エネ型生活に取り組めましょう

### ①省エネ型生活に取り組めましょう

暮らしのなかで取り組む省エネ型生活は、初期投資を必要とせず、誰でも気軽にはじめることができるとともに、光熱水費を節約することができ、家計にも優しい取組です。

省エネの方法を身につけ、できることから省エネ型生活に取り組んでみましょう。

#### 【身近な省エネ型生活の例】

冷房の設定温度を28℃にする	家族が同じ部屋で団らんし、 エアコンや照明の使用を減らす
暖房の設定温度を20℃にする	お風呂は続けて入浴する
テレビやコタツはこまめに消す	お風呂の残り湯を活用する
冷蔵庫にもものをつめこまない	散水などに雨水を活用する

### ②楽しみながら省エネ型生活を送りましょう

継続的に省エネ型生活に取り組むためには、「楽しみ」を見つける必要があります。光熱水費の節約などは、多少であっても記録をすることで成果を実感でき、省エネ型生活の継続につながるものです。

